

2024 年度事業計画概要

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

新材料及びこれに関連する科学技術分野における助成事業（**公益事業 1**）及び科学技術啓蒙事業（**公益事業 2**）を実施する。

公益事業 1

1. 研究助成

1-1. 研究助成

新材料及びこれに関連する科学技術分野で、新規材料開発の基礎並びに応用を指向する独創性の高い研究を対象とし、大学等に常勤する 45 才未満の研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2024 年度（第 36 回）研究助成の実施

2024 年 3 月の第 82 回（公益認定後第 35 回）理事会で承認・決定した 13 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件あたり 2,000 千円、総額 26,000 千円。

(2) 2025 年度（第 37 回）研究助成の公募

公募期間は 2024 年 8 月 1 日から 9 月 20 日。選考委員による書類審査を経て、2024 年 11 月 28 日の選考委員会において候補者を選出する。

1-2. スタートアップ助成

上記 1-1. 研究助成の対象者のうち、学位取得後 10 年以内及び現在のポジションに就いて 3 年以内の研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2024 年度（第 4 回）スタートアップ助成の実施

2024 年 3 月の第 82 回（公益認定後第 35 回）理事会で承認・決定した 12 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件あたり 1,000 千円、総額 12,000 千円。

(2) 2025 年度（第 5 回）スタートアップ助成の公募

公募期間は 2024 年 8 月 1 日から 9 月 20 日。選考委員による書類審査を経て、2024 年 11 月 28 日の選考委員会において候補者を選出する。

1-3. 発展研究助成

上記 1-1. 研究助成の直近の助成修了者を対象とし、当該研究助成の発展・展開が期待される研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2024 年度（第 5 回）発展研究助成の実施

2024 年 3 月の第 82 回理事会（公益認定後第 35 回）で承認・決定した 2 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件 5,000 千円、総額 10,000 千円。

(2) 2025 年度（第 6 回）発展研究助成の選考

2023 年度研究助成の終了者（15 名）が対象。2024 年 11 月 28 日の選考委員会において候補者を選出し、2025 年 3 月の理事会で承認・決定する。

2. 国際交流助成

海外で開催される、新材料及びこれに関連する科学技術分野における国際会議への参加に対して費用の一部を助成する。

(1) 2024 年度（第 37 回）国際交流助成の実施

選考委員による審査選考にて選出し、2024 年 5 月の第 83 回理事会（公益認定後第 36 回）で承認・決定する 9 名に助成金を贈呈する。助成額は最高 250 千円、総額 1,950 千円。

(2) 2025 年度（第 38 回）国際交流助成の公募

公募期間は 2025 年 2 月 1 日から 3 月 21 日。選考委員による書類審査を経て候補者を選出する。

3. 国際シンポジウム助成

国内で開催される、新材料及びこれに関連する科学技術分野における国際シンポジウムに対して費用の一部を助成する。

(1) 2024 年度（第 35 回）国際シンポジウム助成の実施

2024 年 3 月の第 82 回（公益認定後第 35 回）理事会で承認・決定した 5 件について、助成金を贈呈する。助成額は 1 件 300 千円、総額 1,500 千円。

(2) 2025 年度（第 36 回）国際シンポジウム助成の公募

公募期間は 2024 年 8 月 1 日から 9 月 20 日。選考委員による書類審査を経て、2024 年 11 月 28 日の選考委員会において候補者を選出する。

4. 研究成果報告会

2024年11月28日～11月29日、(株)トクヤマ 徳山製造所において、2023年度の研究助成者、スタートアップ助成者および2022年度の発展研究助成者による第27回研究成果報告会を開催する。

公益事業 2

科学技術啓蒙助成

将来を担う世代を対象とした科学技術の普及啓蒙事業に対して助成する。

(1) おもしろワクワク化学の世界展

青少年を対象に(公社)日本化学会中国四国支部が主催する演示実験会「おもしろワクワク化学の世界展」に対して助成する。助成額は2,000千円。

(2) 少年少女発明クラブ

(一社)山口県発明協会等が支援する少年少女発明クラブに対して助成する。助成額は1クラブ50千円、7クラブ、総額350千円。

2024年度（第36回）研究助成

（13件、総額26,000千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	井改知幸	43	准教授	名古屋大学 大学院工学研究 科有機・高分子化学専攻	ヘリカルおよび共平面ラダー高分子の精密合 成とヘリシティ制御に基づく機能創出	2,000
2	榎本有希子	43	准教授	東京大学 大学院農学生命科 学研究科生物材料科学専攻	木材由来の自己分解性生分解性芳香族ポリ マーの合成と材料化	2,000
3	大島一真	36	助教	九州大学 大学院工学研究院 化学工学部門	液体エタノール直接変換のためのゼオライト と電気の新規複合システムの開発	2,000
4	小野利和	40	准教授	九州大学 大学院工学研究院 応用化学部門	キラル螺旋錯体が拓く革新的光エネルギー変 換材料の創製	2,000
5	亀尾肇	43	准教授	大阪公立大学 理学研究科化 学専攻	ケイ素資源の効率的な高機能化を実現する触媒 反応の開発	2,000
6	栗村直人	40	准教授	工学院大学 教育推進機構基 礎・教養科	異種金属相関と薄膜化によるアミノ酸配位高 分子の触媒機能開拓	2,000
7	権正行	35	助教	京都大学 大学院工学研究科 高分子化学専攻	揮発性物質の吸脱着を発光検出可能な π 共役 系高分子化学センサーの開発	2,000
8	高石和人	43	准教授	岡山大学 学術研究院環境生 命自然科学学域応用化学専 攻	多刺激応答性キラル色素の開発	2,000
9	武田貴志	42	教授	信州大学 理学部理学科 准	動的な水素結合有機構造体の創製と機能	2,000
10	土戸良高	36	助教	東京理科大学 理学部第一部 化学科	水溶性シクロパラフェニレンの合成と応用展 開	2,000
11	藤川紗千恵	43	助教	埼玉大学 大学院理工学研究 科数理電子情報専攻	狭バンドギャップ半導体を用いた光熱電変換 材料の創製	2,000
12	松本有正	39	准教授	奈良女子大学 理学部化学生 物環境学科	疑似的な鏡像異性体の混合に よる特異な光学 活性材料の開発	2,000
13	山田泰弘	44	准教授	千葉大学 大学院工学研究院 総合工学講座	分光分析と量子化学計算によるグラフェン錯 体の高精度構造解析	2,000

2024年度（第4回）スタートアップ助成

（12件、総額12,000千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	秋吉亮平	28	助教	関西学院大学 理学部化学科	ソフトマテリアルとしての半導体配位高分子の創成	1,000
2	足立惇弥	29	助教	九州大学 大学院理学研究 院化学部門	脂質二重層を用いる有機合成法の開発	1,000
3	金井綾香	30	助教	長岡技術科学大学 工学部 電気電子情報系	次世代環境調和型太陽電池材料の開発～SnS薄膜に対するCuキャップ層の効果～	1,000
4	鹿又喬平	29	助教	大阪大学 大学院薬学研究 科医療薬学専攻	セルロースナノファイバーから作る新触媒材料と界面不斉反応の創出	1,000
5	下山大輔	30	助教	東京都立大学 大学院理学 研究科化学専攻 助教	オレフィンメタセシスによる共役ポリマー新素材の開発	1,000
6	鄭サムエル	34	助教	筑波大学 数理物質系物理 工学域	官能基修飾グラフェンから成るギ酸クロソオーバー抑制バイポーラ膜の創出	1,000
7	住谷陽輔	31	助教	九州大学 先端物質化学研 究所物質基盤化学部門	計算化学アプローチによる水中接着の原理解明と材料設計	1,000
8	関貴一	36	助教（PI）	弘前大学 大学院理工学研 究科物質創成科学科	高感度バイオイオンセンサーを目指した、界面振動分光法に基づく界面分子設計	1,000
9	外間進悟	30	テニユア トラック 助教	京都工芸繊維大学 分子化 学系物質分析学	ファンデルワールス量子センサーの開発	1,000
10	前島咲	31	助教	京都大学 大学院理学研究 科化学専攻	芳香族ヘテロ環の光還元的-原子挿入型骨格変換法の開発	1,000
11	松村吉将	29	特任講師	大阪工業大学 工学部応用 化学科	安定なビスマスモノマーの設計による高屈折率ポリマーの開発	1,000
12	安村駿作	31	助教	東京大学 生産技術研究所 物質・環境部門	貴金属を用いないメタン燃焼触媒の計算先導開発	1,000

2024年度（第5回） 発展研究助成

(2件、総額 10,000 千円)

(五十音順)

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 (千円)
1	田代省平	45	准教授	東京大学 大学院理学系研究 科 化学専攻	超分子ノードを活用した非対称結晶ナノ細孔 の合理設計と機能化	5,000
2	吉田優	42	准教授	東京理科大学 先進工学部生 命システム工学科	アライン中間体を経る含硫黄骨格形成法の開 発	5,000

2023年度（第36回）国際交流助成

（11件、総額2,550千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	会議名（機関・場所）	研究題目	助成額 （千円）
1	神永健一	37	助教	東北大学 大学院工学研究科	APS March Meeting 2025（アメリカ物理学会2025）（2025/03/16-2025/03/21）カリフォルニア州アナハイム[アメリカ・西部]	NbOの岩塩型新奇相薄膜の超伝導	200
2	金東昱	34	特定研究員	京都大学 大学院工学研究科	PRIME2024（国際電気化学会）（2024/10/06-2024/10/11）ホノルル[アメリカ・ハワイ]	カルボキシレート型SICポリマーとイオン液体を複合した電解質の電気化学的特性向上	150
3	小林真子	30	助教	東北大学 大学院工学研究科	TERMIS-WC 2024（国際組織工学・再生医療学会 世界会議2024）（2024/06/25-2024/06/28）ワシントン州シアトル[アメリカ・西部]	脱細胞化組織粉末・がんスフェロイドを用いたバイオインクの特性評価	200
4	田中健太	33	特任助教	岡山大学 異分野基礎科学研究所 助教	24th Tetrahedron Symposium（2024/06/18-2024/06/21）モンペリエ[フランス]	中程度の酸化力を有するチオキサンチリウム有機フォトレドックス触媒による [2+2]環化付加反応	250
5	田中隆行	39	准教授	京都大学 大学院工学研究科	ICPP-13（第13回ボルフィリン・フタロシアニンに関する国際会議）（2024/06/23-2024/06/28）ニューヨーク州ナイアガラフォールズ[アメリカ・東部]	8, 10縮環イミノイソコロールの反芳香族性	250
6	濱口達史	43	教授	三重大学 研究基盤推進機構	12th Intl. Works. on Nitride Semicond.（第12回窒化物半導体国際ワークショップ）（2024/11/03-2024/11/08）オアフ[アメリカ・ハワイ]	凹面鏡型窒化物VCSELのファイバー近似	150
7	東野智洋	37	准教授	京都大学 大学院工学研究科	ICPP-13（第13回ボルフィリン・フタロシアニンに関する国際会議）（2024/06/23-2024/06/28）ニューヨーク州ナイアガラフォールズ[アメリカ・東部]	ドナー連結平面状コロール色素における長寿命電荷分離状態によるDSSCの高性能化	250
8	山岡賢司	28	特任助教	大阪大学 大学院理学研究科	IUPAC MACRO 2024 50th World Polymer Congress（IUPACマクロ2024 第50回世界ポリマー会議）（2024/07/01-2024/07/04）コヴェントリー[イギリス]	ホスト-ゲスト包接錯体を可逆性架橋として導入した高分子材料の自己修復性と粘弾性	250
9	LIFENG	35	助教	北海道大学 大学院工学研究院	IUPAC MACRO 2024 50th World Polymer Congress（IUPACマクロ2024 第50回世界ポリマー会議）（2024/07/01-2024/07/04）コヴェントリー[イギリス]	セルロース系バイオマスからケミカルリサイクル可能な非天然多糖類の合成	250

2024年度（第35回）国際シンポジウム助成

（5件、総額 1,500千円）

No.	会議名称	開催期間・場所	主催団体名	組織/実行委員長	参加者（人）			助成額 （千円）
					国内	海外	合計	
1	第20回国際ケイ素化学シンポジウム	2024/05/12-05/17 広島国際会議場	ISOS-20組織委員会	共同組織委員長 広島大学 教授 大下浄治	350	150	500	300
2	2024年粉末冶金国際会議	2024/10/13-10/17 バシフィコ横浜	日本粉末冶金工業会	委員長 日本粉末冶金工業会 会長 伊井浩	400	300	700	300
3	第20回有機金属と配位化学に関する 日韓合同シンポジウム	2024/11/12-11/15 東北大学大学院理学研 究科	第20回有機金属と配 位化学に関する日韓合 同シンポジウム組織委 員会	組織委員長 東北大学 教授 岩本武明	45	15	60	300
4	第4回アジア電気化学インピーダン ス法に関する国際会議	2024/11/21-11/22 名古屋工業大学	公益社団法人腐食防食 学会	実行委員長 名古屋工業大学 准教授 星芳直	30	70	100	300
5	第17回プラズマ技術の基礎と応用に 関するアジア太平洋国際シンポジウ ム/第18回先進プラズマ科学と窒化 物及びナノ材料への応用に関する国 際シンポジウム/第17回プラズマナ ノ科学技術国際会議	2025/03/02-03/06 中部大学	公益社団法人応用物理 学会	組織委員長 豊田工業大学 教授 佐々木実	250	200	450	300

（開催日順）

2024 年度 科学技術啓蒙助成

事業名称	おもしろワクワク化学の世界 '24 鳥取化学展
助成額	2,000 千円
主催	公益社団法人 日本化学会中国四国支部
共催	公益財団法人 徳山科学技術振興財団
後援	公益財団法人とっとりコンベンションビューロー、鳥取大学、鳥取環境大学、米子工業高等専門学校、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会、NHK 鳥取放送局、日本海新聞、日本海テレビ（予定）
大会委員長	内藤 俊雄（愛媛大学大学院 教授、2024 年度日本化学会中国四国支部長）
実行委員長	片田直伸（鳥取大学 教授）
実行委員	主に鳥取大学工学部化学バイオ系学科・技術部教職員
開催期間	2024 年 8 月 23 日（金）～25 日（日）3 日間
場所	丸由百貨店 5F 催事場（鳥取市今町 2-151、JR 鳥取駅徒歩 2 分）
展示ブース	実験ブース数 15 程度
参加対象者	小学校児童、中学校・高等学校生徒およびその保護者、一般
事業概要	化学に関するデモンストレーション（演示実験）、体験実験を通して、21 世紀を担う青少年に、化学や化学技術の重要性、面白さや不思議さを伝えることにより、夢を与えることを目的とする。本化学展により、青少年の素朴な疑問や好奇心を感動につなげる機会を提供するとともに、参加者の化学や化学技術に対する認識も刷新したい。
事業名称	少年少女発明クラブ
助成額	1 クラブ 50 千円（7 クラブ合計 350 千円）
主催	（一社）山口県発明協会、山口県内市町村教育委員会
共催	山口県内市町村、同公共施設、同商工会議所 他
運営組織	各クラブの企画運営委員会
活動期間	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日（1 年間）
場所	山口県内公共施設
参加対象者	小中学生及びその保護者
事業概要	本クラブは、現在全国に 214 のクラブがあり、約 11,000 名の子どもたちが、約 2,800 名の指導員のもと科学的な原理に基づく工作実習、創作活動等の体験学習を行っている。山口県では現在 7 クラブ（下関市、山口市、宇部市、防府市、周南市、柳井市、田布施町）が活動している。本活動は、子どもたちに地域の特徴を生かした創意工夫に基づく創作活動の場を提供し、作品製作や実験を通じて、アイデアを形にする能力と技術を持った創造性豊かな人間形成に寄与することを目的として活動し、有意義な成果が得られている。